

酒類・加工食品業界の業務効率化と標準化推進をめざす [ファイン・ファイネット]

FINE FINET

[NEW YEAR TOP MESSAGE]

平成29年 年頭にあって

株式会社ファイネット

代表取締役社長

大谷 邦夫

ファイネット30年の歩み

企業間情報交換のさらなる拡大と
標準化を目指して

[FINET VAN SERVICE]

大規模災害を想定した
緊急避難システムへの切替訓練を実施

Vol. **41**
2017 Winter
ファイネット発行

平成 29 年 年頭にあたって

代表取締役社長
大谷 邦夫



会員企業の皆様、新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、ファイネット事業に一方ならぬご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年、設立30周年記念のユーザー会を企画いたしましたところ、たいへん多くの皆様にお越しいただき盛大な会を催すことができました。重ねて厚く感謝申し上げます。

昨年春から4回にわたり連載してまいりました「ファイネット30年の歩み」シリーズも本号で最終回を迎えます。社員一同が編集を通じて、「競争は店頭で、インフラは共有で」を合言葉に、業界の共通基盤の構築に尽力してこられた多くの先輩方の思いを再認識すると共に、これからも皆でしっかりとバトンを繋いでいくという決意を新たにしております。

本年4月から新たな中期経営計画(2017年度～2019年度)がスタートいたします。「円滑なサービス運営」「顧客満足度の向上」「標準化推進活動を通じた業界貢献」の3つの指標を事業目標に掲げ、計画の達成に向けて全社一丸となって邁進する所存でございます。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

ファイネット 30年の歩み

4

2007~2016年

株式会社ファイネットは、2007年度以降も様々な標準化推進活動に力を入れ、また商品情報データベースの一元化に向けた取組みを行っています。さらに大規模災害に備えた安定・安全・安心のための危機管理対策や、次世代の情報通信技術に対応したVANサービス基盤の刷新も実施しました。将来への展望も含めた「ファイネット30年の歩み」最終回をお届けします。

競争は店頭で、インフラは共有で 企業間情報交換のさらなる拡大と 標準化を目指して

標準化推進活動の充実に向けて

酒類・加工食品業界標準化推進会議での取組み

酒類・加工食品業界標準化推進会議（略称：標準化推進会議）は2003（平成15）年10月の発足以来、その充実に力を入れてきました。

2007年度以降も様々な標準の普及推進に向けて活動を続けています。GTINによるEDIを普及させるべく2010年度~2014年度に「GTIN-EDI普及検討部会」を設置した他、品質系情報の標準化に関しても適宜小委員会等を設置し外部の活動も意識しながら進めてきています。「メーカー/卸間のインターネットEDI研究会」や「企業識別（取引先）コード研究会」を設置し、時々に応じた情報共有や検討を行ってきました。2015年度には「物流情報検討部会」で検討を進め、物流データ種を制定しています。

現在も、流通業界の標準化動向の共有や、GTIN-EDIやインターネットEDIなどについて継続して普及推進と認識合わせを行っているほか、2016年度に入り「統一取引先コード利用促進部会」を設置、酒類・加工食品業界における最も相応しい取引先コードであり、2013年度に酒類・加工食品業界唯一の標準かつ共通の取引先コードとして活用すると決めた、酒類食品全国コードセンター（SSZCC）が管理・運営する『統一取引先コード』の利用を、主に加工食品にかかわるメーカーと卸店に広げべく活動しています。

品質系情報の標準化への取組み

食の安心・安全に対する関心の高まりを背景に、アレルギーなど商品の品質に関する情報の企業間でのやりとりが年々増えてきました。ところが、商品情報の項目や授受手段が取引先ご

と異なるケースが多いため、その標準化、効率化の実現が業界全体の大きな課題となっていました。

こうした背景から、製配販3層が一堂に会する日本GCI推進協議会（略称：GCIジャパン）の加工食品・飲料 品質系情報検討タスクフォースにおいて、(株)ファイネットが事務局を務め、品質系情報を企業間で授受する際の標準項目【品質230】を策定しその活用を目指しました。

一方、ファイネットは商品情報データベースサービス（FDB）事業において、2011年11月に、前述の【品質230】の関連項目を追加しました。

しかし、【品質230】には取引の当事者間で開示範囲を取り決めるべき項目も含まれていたこともあって、広く活用されるには至りませんでした。

そこで、2012年度でのGCIジャパンの解散を受けて、その従来の活動内容を継承しつつ、製配販3層の業務実態を踏まえ、商品情報授受の効率化を検討する新たな会議体として、2013年5月、商品情報授受標準化会議（略称：PITS）が発足しました（事務局：ファイネット）。

そこでは、【品質230】をベースとしつつも、商品パッケージに表示されているレベルの項目を中心とした「誰でもいつでも開示できる項目」を「よりスムーズに授受する」事を方針として、PITS標準項目とPITS標準フォーム（商品規格書）を策定しました。

その後、ファイネットが平成26年度農林水産省補助事業「標準商品規格書とそのガイドラインの検討会」を受託し、PITS標準項目をベースに、メーカー、卸店、外食産業、有識者などの検討委員による意見を取り入れた成果物として「標準データリ

スト「標準商品規格書 (SSSP/2014)」およびそのガイドラインを作成しました。

PITSでも2015年11月にその成果物に準拠する形で改定を行い、現在の「PITS標準項目 第1版」「PITS標準フォーム 第1版」が策定されました。PITSには現在メーカー17社、卸店11社、小売業3社、業界団体4法人、およびデータベース事業者8社が参加し、議長企業の味の素(株)、(株)ニチレイフーズを中心に、広く業界内各社や業界団体等への普及活動を行っています。

商品情報データベースの一元化に向けた取組み

ファイネットはFDBサービス事業を開始して以来、普及推進に向けた営業活動を積極的に展開して、参加メーカー・卸店の拡大を図ってきました。

2010年11月、ファイネットは、日用品・化粧品業界の商品情報を管理する(株)プラネットとの協議の結果、それぞれの保有する商品情報データベースの相互連携を実現しました。この相互連携により、それぞれの商品情報データベースの利用者が、業

界の垣根を越えた商品情報の活用が可能となり、両業界に関わるメーカーや、フルライン化を目指す卸店にとって、情報授受の効率化につながりました。

一方で、酒類・加工食品業界のメーカー・卸店間では、ファイネットのFDBサービスと(株)ジャパン・インフォレックス (JII) のInforexサービスの2つが存在し、FDBからInforexにデータを連携して商品情報の活用は進んでいるものの、機能としては業界内で重複している状況でした。それによる弊害をなくし、業界内の標準化、効率化、コスト削減など、メーカー・卸店間におけるメリット拡大をめざす方向性を両社で合意し2013年11月より協議を開始しました。

両社は将来的な商品情報データベースの一元化を目的として協議を重ね、2016年4月にファイネットのFDBサービスの運営をJIIに委ねるべく事業承継を行いました。これに伴ってファイネットはJIIに資本参加し、近い将来JIIが目標とする2つのデータベースの一元化に向けて、ファイネットとしても標準化推進活動の一環として協力体制を取っていくこととなります。

サービス基盤および危機管理体制の強化

大規模災害に備えた安心・安全対策

首都圏で大規模災害が発生しても継続してサービス提供できるように、2010(平成22)年4月、関西地区に商品流通VAN(ホスト系システム)の緊急避難システム(DRサイト)を構築しました。当時のシステムは、発動時にユーザー側で接続先の切り替えが必要だったため、同年10月からは、毎年ユーザー各社の協力を得てシステム接続切り替えの訓練を実施しました。

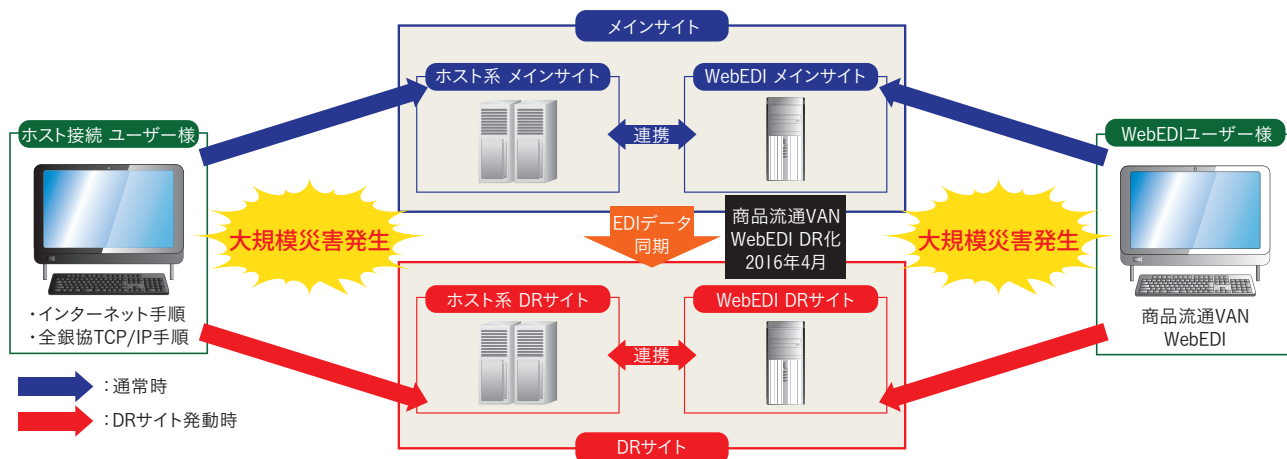
2013年10月には、いっそうのサービス強化を目的に、緊急避難システムのデータ同期化(通常サイト・DRサイト間のデータ同期)と接続先の自動切り替えを実現しました。また、対象範囲の拡大を目指し2014年2月には、資材VANサービスおよび手続きサイト、2015年3月にはFAX変換サービス、2016年4月には商品流通VANのWebEDIシステムに広げ受発注に関連するすべてのサービスを、緊急避難システム対応としました。

VANサービス基盤の刷新

2013年10月、商品流通VANおよび資材VANのホスト接続における新たな通信手段として、インターネット手順を追加しました。通信経路にインターネット(IP網)を使うことで、それまでの電話網を使った通信手段に比べて、通信速度の飛躍的な向上、通信費用の低減が実現できるようになりました。加えて、電話網を使わないため、災害時に懸念される電話回線の輻輳の影響を回避することや、国外から接続することも可能になりました。

2015年11月からは、PDF変換サービスについても、インターネット手順への対応を開始しました。

現在の緊急避難システム (DR サイト)



「30周年記念ユーザー会」開催
(2016年5月24日 東京・ロイヤルパークホテル)



システム障害発生に伴うサービス品質強化への取組み

2013年1月のVANサービス基盤のリプレースに伴い、システム障害が発生して、サービスが一時停止したことで業界に多大なご迷惑をおかけしました。このことを教訓に、ファイネットは、サービスの安定稼働およびシステム障害発生時における迅速かつ正確な情報の提供の重要性を再認識し、次のようなVANサービス品質向上活動に取り組みました。

まず、サービスの安定稼働に向けて、プログラム開発基準・

テスト基準の厳格化とリリース判定体制を見直しました。そして、よりいっそうのシステム障害防止に向けた機器構成と環境整備、監視の強化（予兆検知）に取り組みました。さらに、万が一システム障害に伴うサービス一時停止等が発生した際に、影響のあったユーザーに迅速かつ正確な情報を提供するために、影響範囲を迅速に特定して情報発信を行うため2014年4月には、障害管理サイトを構築しました。また、サイトがユーザーの環境で利用できることを確認していただくための接続テストを毎年実施しています。

継続的なサービス拡充と利用料金値下げ

WebEDIのデータ種追加とPDF変換サービスの開始

ユーザーへのサービスをよりいっそう向上させるために、新たなサービスやデータ種などの追加を実施しました。

2012（平成24）年3月には、WebEDIのメーカー向け対応デ

ータ種を追加しました。従来、メーカーが販売実績データや販売促進金データを利用する場合、ホストでの接続のみ利用が可能でしたが、それをWebEDIでも可能としました。メーカーがWebEDIを利用して、卸店からの販売実績データの取得および販売促進金の請求・支払内容をデータ交換できるサービスです。

また、紙帳票の印刷・郵送業務を効率化するサービスとして、2012年11月にPDF変換サービスを開始し、帳票種の第一弾として卸店からメーカーに送る販売促進金請求書に対応しました。卸店からの販売促進金請求データをファイネットがPDFファイルに変換し、メーカー側がWeb画面でダウンロードすることで紙の印刷・郵送を廃止できるサービスです。2016年4月には、このサービスにさらに新規帳票を3種類追加しました。メーカーが卸店に送付する販売促進金支払案内書、メーカーが卸店にあるいは卸店が得意先に送付する納品書および品代請求書（商品代金請求書）です。

それまで、卸店からメーカーへの発注票のみに対応していたFAX変換サービスでも、2011年3月に出荷案内書に対応し、メーカーから卸店に送られる出荷案内書についても、印刷・郵送に替わる手段として、ファイネットにデータを送れば相手側に自動でFAX配信されるサービスを開始しました。また2012年3月には発注票において菓子業界での標準データフォーマットお

び標準書式への追加対応を行いました。

利用料金値下げによるサービス向上

ファイネットは設立以来、新規ユーザーの加入ハードルを低減するために、また既存ユーザーのコスト削減のために、商品流通VANの利用料金値下げを継続的に実施してきました。2008年1月には、設立以来9回目となる商品流通VANの利用料金値下げを行いました。2011年10月には、10回目としてさらに平均約6%の値下げをしました。2014年10月には、11回目としてさらに平均約7%の値下げを行いました。また、これに合わせて新規加入時および、新たな取引先とデータ交換を開始する都度かかっていた初回一時金の料金項目を撤廃し、より利用拡大を行っていただきやすい料金体系にしました。

また、2000年10月に開始した資材VANサービス料金も、2013年7月に料金を改定し利用基本料金の見直しを実施しました。

業界を支援して30年、将来の展望

2007～2015年度の状況

2007（平成19）年度から2015年度までの商品流通VANサービス事業の推移を見てみると、年間のデータ処理件数は2007年度に14億6,000万件であったのが、2015年度には25億91万件と進展しました。加入企業数は2007年度ではメーカー、卸店含め約1,800社、2015年度には1,849社となりました。この間、加入企業数は企業の系列化やM&Aの進展などの影響もあって微増に留まりますが、データ処理件数は引き続き大幅に伸長しています。

なお代表取締役社長は、2008年6月に浦野光人氏から山口範雄氏（味の素㈱代表取締役社長）に、2012年6月には山口範雄氏から細見典男氏（日本水産㈱代表取締役社長執行役員）に、2016年6月には細見典男氏から大谷邦夫氏（㈱ニチレイ代表取締役社長）に交代しました。

ファイネットの社会貢献

ファイネットも企業としての社会的責任を果たすべく、東日本大震災の被災地復興に向けた日本赤十字社を通じた寄付等、ささやかながら社会貢献活動に取り組んでいます。

最近では国連WFP（国連世界食糧計画）の学校給食プログラム支援のための「レッドカップキャンペーン」という活動に参加、2012年10月には評議員に加入しました。そのご縁で2016年の「30周年記念ユーザー会」ではWFPの親善大使でもある三浦雄一郎さんに記念講演をしていただきました。これからも一企業として社会貢献活動にも微力を尽くしたいと考えています。

これからのファイネット

2016年4月、ファイネットは出資企業および会員企業の支援を受けて成長し、30周年を迎えることができました。この間、酒類・加工食品業界の効率的な取引を実現しコスト削減に貢献するために、VANサービスの充実に取り組んできました。また、



国連WFPから贈られた楯と感謝状

関連団体・業界とも連携を図りながら、標準コードの活用推進、商品情報授受の標準化など、業界の発展に寄与する標準化推進活動にも取り組んでいます。

ファイネットは、過去30年の活動をもとに、3つの事業目標を掲げています。

- 1.円滑なサービス運営——サービス品質・機能の向上
- 2.顧客満足度の向上——サービス普及を通じた顧客への貢献
- 3.業界貢献——収益範囲外での標準化推進活動

この3つの目標には「全社業績評価指標」を掲げ、今後の事業活動に邁進していく所存です。

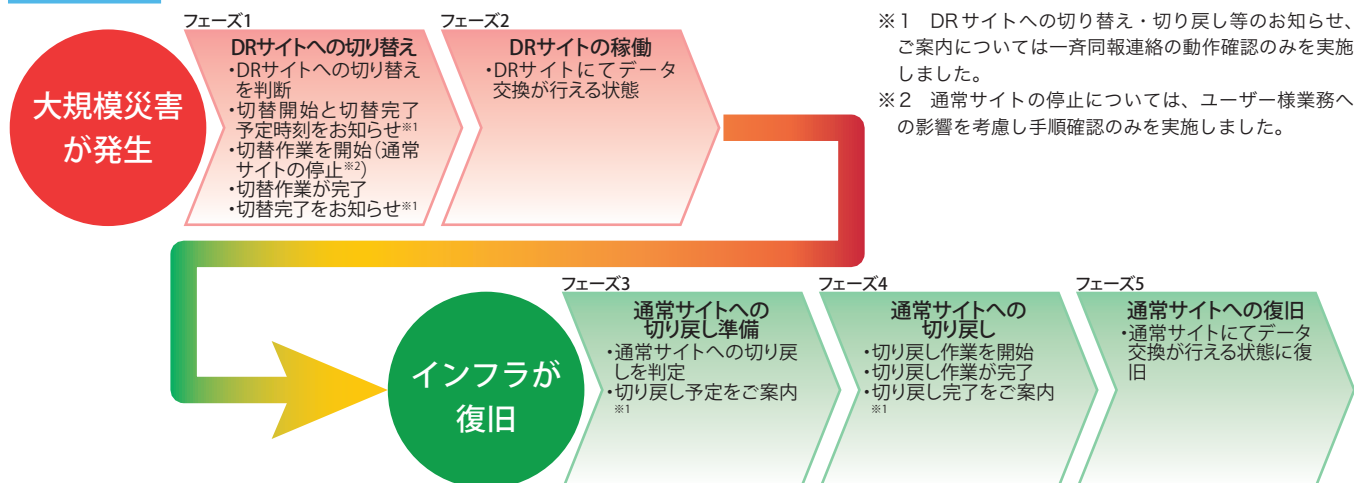
今後もユーザーの利便性を高めるためのさまざまなテーマに取り組み、酒類・加工食品業界における企業間情報交換の業務効率化とコスト削減を支援していきます。

大規模災害を想定した 緊急避難システムへの切替訓練を実施

ファイネットでは、大規模災害を想定して、ファイネットが提供する商品流通VANサービスおよび、資材VANサービスの緊急避難システム（以下、DRサイト）への切替訓練を2016年10月13日（木）に実施しました。ファイネットでは、2010年4月のDRサイト開始以降継続してDRサイトへの切替訓練を実施しております。

DRサイトへの切替訓練は、ファイネットのBCP（事業継続計画）の一環で、通常サイト（首都圏）の被災を想定し、遠隔地のDRサイトに切り替えて復旧させるものです。

訓練内容



◆本件に関するお問い合わせ先◆ファイネット ヘルプデスク ☎0120-091-094 (受付時間：年中無休 7：30～23：00)

業界の皆様を支えられ、 ファイネットは30周年を迎えました

ファイネットは、酒類・加工食品業界のメーカー・卸各社の皆様を支えられ、設立30周年を迎えることができました。11月21日（月）には、帝国ホテルにおいて、関係各位のこれまでのご支援に感謝を申し上げ、「(株)ファイネット設立30周年 感謝の夕べ」を開催しました。

当日は、出資会社各社の代表者の方々をはじめ、ファイネット歴代の役員・社員等、総勢約180名の皆様にご参加いただきました。第1部では、代表取締役専務・小原応孝が「30年の歩みとこれからのファイネット」を報告し、第2部では代表取締役社長・大谷邦夫がご挨拶申し上げます。ご参加の皆様は、久しぶりの再会に話題が弾み、盛会裡に会はお開きとなりました。



ご挨拶する大谷邦夫社長



なごやかにご歓談される皆様

[FINET ANNOUNCEMENT] ファイネット・アナウンスメント

ユーザーアンケート調査を実施いたします

弊社では2年ごとに商品流通VANサービスのユーザー様を対象に、サービスのご利用状況についてのアンケート調査を実施しております。アンケートの発送は1月下旬を予定しております。

ご多忙の折、大変恐縮ではございますが、アンケート調査にご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。
(営業推進部)

FINE FINETの送付先等の変更について

今回、ご送付いたしております「FINE FINET (ファイン・ファイネット)」の宛名や部数の変更等がございましたら、以下までご連絡ください。

【連絡先】 株式会社ファイネット 営業推進部
Tel 03-5643-3450 / e-mail info@finet.co.jp
(総務部)

ファイネットへのお支払いは、お得で便利な「預金口座振替」をお勧めします

弊社では、お支払方法に「預金口座振替」がございます。この機会に、是非ともご検討いただければ幸いです。

【お申込方法】
(1)弊社、手続きサイトからお申込ください。
手続きサイト URL <http://www.finet.co.jp/fts>
(2)手続きサイトのご利用がご不明の場合のお問合せ先

【ご利用のメリット】

- (1)お振込手数料はお客様負担となりますが、振替手数料は弊社負担でございます。
- (2)月々のお振込手続きが不要になり、業務の簡略化が図れます。

【ファイネット ヘルプデスク】

 **0120-091-094**

(年中無休7:30~23:00)

(総務部)

会社休業日について

弊社では、2017年2月17日(金)を会社休業日とさせていただきます。ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

なお、ファイネット ヘルプデスクは通常通り稼働しておりますので、お問い合わせの際は、ご利用ください。

【会社休業日】

- ・2017年2月17日(金)

【ファイネット ヘルプデスク】

 **0120-091-094**

(年中無休7:30~23:00)

(総務部)



FINE FINET (ファイン・ファイネット)
Vol.41 2017 Winter 2017年1月1日発行

[発行] (株) ファイネット 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町13-2 兜町偕成ビル7階
Tel.03-5643-3400 Fax.03-5643-3499 [編集・発行責任者] 小原 応孝



<http://www.finet.co.jp>